

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル新潟空港通り		
○保護者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士などの専門職を中心に専門的な支援が受けられます。	児童が主体的に活動できるよう、興味や特性に応じたプログラムを柔軟に設定しております。	専門職によるアセスメント及び専門的支援の実施、生活動作の向上を目的とした支援を行ってまいります。
2	送迎があるため、保護者にとって少ない負担で利用することが可能です。	児童発達支援では療育提供時間に合わせて自宅や就園先にお迎えに行かせていただいております。 放課後等デイサービスでは、下校時刻に合わせてお迎えに行かせていただいております。帰りは自宅や保護者の指定する学童などに送迎を行なっております。	家庭状況に合わせ、送迎範囲の拡大やサービス提供時間の延長支援など柔軟に受け入れ体制や送迎対応を行なっていきます。
3	保護者の相談しやすい環境・雰囲気であり、家庭との連携強化に努めております。	家庭でできるリハビリ指導や環境面のアドバイス、支援の共有を図るための定期的なフィードバックの実施を行っております。	保護者との更なる連携強化のための定期的な保護者交流会や保護者向け研修の開催や保護者との情報共有ツールの活用の導入を目指してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が不足しており、地域資源の活用が十分でないため改善が必要であると感じております。	地域とのネットワーク構築の機会が少なく、外部との交流が不足している点があげられます。	地域との連携強化を図るため、地域の学校や福祉施設、地域のボランティア団体との合同イベントや活動の企画開催を目指してまいります。
2	療育スタッフの人材確保及スタッフの育成が課題だと感じており、改善策を講じてまいります。	人材不足や新人スタッフの育成期間の長さが、安定した支援の提供に影響を与えていると感じています。	OJT制度を強化し、新人スタッフの育成の強化を図る取り組みを行ってまいります。
3	ペアレントトレーニングなどの保護者支援に携わることの出来る職員や知識を持った職員の育成が課題だと感じており、改善策を講じてまいります。	保育士経験者や指導員経験者が少なく、傾聴など保護者支援の基礎を学ぶ機会が少なかったことが考えられます。	保育士や指導員の経験者の中から自己研鑽やスキルアップとして保護者の支援が出来る資格など取得ためバックアップを行なっていきます。